

Dance with Heart
The Kikunokai Troupe
We are burning with enthusiasm
in creating national art for the new era.
Chairperson Michiyo Hata

日本のおどり

発行:舞踊集団 菊の会

〒161-0031
東京都新宿区西落合2-21-23
03-5983-6001(代表)

菊の会京都八瀬研修所

〒601-1254
京都市左京区八瀬野瀬町10
075-712-8701(代表)<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart

御挨拶

舞踊集団 菊の会

代表 畑 道代



初夏の候、益々御清祥におすごしの事と存じます。
お陰様で今年創立32周年を迎え、皆様の暖かいお力添えを賜り菊の会の様々な活動も総てようやく持続させて行ける様になり、心から感謝申し上げます。
誠に有難うございます。

創立時をふり返りますと毎日がお稽古で、その他は何もなかったのが夢の様です。今は全く様が変わりし、幼い方や若い人達の育成も5月5日の「さつき会」と東京新聞社主催の全国舞踊コンクールがやつとの目標の日々となりました。
その中、菊の会では公演に重点をおき、お越し頂いたお客様に飲んで頂ける舞台を目ざし頑張っております。

今日よりは更に菊の会全員がそれぞれの立場で日々精進して参ります。
今後共、御指導、御鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

新邦楽「牡丹がさね」より

感動をありがとう



埼玉県三芳町

三芳町長

林 孝次

菊の会は創立以来三十有余年、常に日本の伝統芸能「おどり」を、国内はもとより海外公演も積極的に行う等、文化庁の芸術団体重点支援事業としても推進されておりますことに、心より敬意を申し上げます。私も、日本の伝統的な歌舞等についての知識は、ある程度持っているつもりでしたが、初めて菊の会の創作舞踊を拝見した時の感動は、今でも鮮明に心に残っております。

私の住む三芳町は江戸時代、当時川越城主だった柳沢吉保公によって手がけられた、新田開拓「三富新田」で歴史的にも知られる地で、関越自動車道の下り線で最初のPAのある町です。その自然に恵まれた緑豊かな我が町の施政目標は「心の豊かさを実感できるまちづくり」です。しかし乍ら、世界中が混沌として、国内においても青少年犯罪、児童虐待等々の多くの暗い事件事故で枚挙に暇がありません。この様に世の中が殺伐として、人間本来の「らしさ」が失われつつある現在、芸術を通して多くの皆さんの心に、感動と安らぎをもたらす菊の会の公演活動は、改めて日本の歴史や文化を認識する上からも、為政者の一人といたしまして、大変素晴らしい意義の深い芸術活動だと思っております。私はこれまで一貫して、人づくりの原点は生涯学習と考え、その拠点となります各種社会教育施設の整備充実を図ってまいりました。中でも、平成十四年に完成した文化会館「コピス みよし」は、質の高い文化芸術を町民に身近に提供できる場だとして自負をいたしております。

実は、その文化会館の柿落しをしたのは、菊の会の皆さんでした。菊の会のメンバーに三芳町出身の団員の方もおられましたし、それに何より、私が初めて菊の会の舞台を拝見したときのあの感動を、ひとりでも多くの町民に感じていただきたくて、是非にとお願いをいたしました。どうぞこれからも、舞踊集団・菊の会が限りなく発展いたしますよう心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



地 唄「夕顔」

さらなる畑道代芸術の再構築を

経営学博士・評論家 小久保 晴行

平成十四年十月、東京でポーラ 伝統文化振興財団の第22回伝統 文化ポーラ賞優秀賞授賞式があり、 畑先生は源氏物語の「夕顔」を 踊りました。私は小型カメラを持

しても、会場や舞台の狭さを感じ させませんが、これは畑道代芸術 の洗練度の高さと、創造性と技術 力であると感じています。

人生の峠を越えてまた越えて 和服の師匠明日も旅行く

つて、舞台に近い中央の通路へ行き、 蹲って真つ暗な中で、ライトを浴び た畑さんの全身像を望遠レンズで 追いかけてきました。しかし当然舞台 上で動くので、無理に追いかけてよ うとしたら姿勢を崩して、私は通 路に転げ込みました。驚いて顔を 上げたら、作家の沢地久枝さんが、 私の顔の真ん前で食い入るように 暖かい豊饒さが同居しています。

東京の「アトリエ公演」を拝見



経営学博士・評論家 小久保 晴行 Haruyuki Kokubo

Message



Kikunokai

舞踊家の条件

舞踊演劇評論家

如月 青子

「菊の会」からの「舞踊家の条件」というテーマに向かい合って、坪内逍遙の「新楽劇論」から百年にあたる現在を、改めて見つめました。

その今日の現状について「ないものねだり」をしては現実から遊離してしまふという思いと、理想を掲げねば現状に埋没してしまうという気持ちが交錯しています。そして結局、不器用な私としては、自身の実体験を通しての、何らかの感想を記させていたたくしかない、舞踊に関する拙文のスクラップを綴りました。

実体験といつても（幼時からの「花柳舞踊研究会」出演や、邦楽関係の同様なことの持続はあるにしても）仕事としては客席で観て拙評を記してきた、なんとかの二おぼえのみです。



ちょうど四十年になる、新聞や専門誌の拙文などを通して浮かんできた「舞踊家の条件」は、「持続と発見」の必要です。神ならぬ人間は、実体験を重ねる中で初めて解り、失敗した後には舞踊家だけではなく人間の仕事に共通することと言えましよう。そして舞踊家の場合は「生身の身体活動」によつてなされるのが一大特色ですから、修練された身体、実力が条件。その芯に純粹な精神、思考力が通っているはずと思います。

花に舞う「春の訪れ」



MAIL BOX

「きつぎ会」に 学びしもの

鶴ヶ島市社会福祉協議会

理事 原田 裕子

“新緑に風そよぎゆく五月かな”

見たように思います。

とはいえ、ゴールデンウィーク最終日の「こどもの日」は、残念ながら肌寒い一日でし見守り続けるご両親をはじめ諸先輩の皆、そして畑先生に心からの拍手を

桶の夕べを 才で開催



エルゲン御夫妻・ウナル三等書記官と畑代表



町田市長
寺田和雄
Kazuo Terada



文化振興の 担い手として ますますのご活躍を



From Hiroko Harada

へと向かいました。毎年恒例となつてい
「さつき会」の公演があったからです。
舞台いつばいに練り広げられる一つの
演目を拝見しながら、この数分のためにど
れだけのおけいこを日々積み重ねてきたこ
とかと、見えざる世界にも思いを馳せてお
りました。空を切る扇の美しさ、目線・
腰・足さばき、次の動作へのつなぎと間、
どれをとつても教えられれることの多いひと
ときでした。遊びたい盛りを良くぞこま
とど、客席から大きなエールを送らせて頂
いたのです。人に感動を与えるためには、
優雅に泳ぐ白鳥の水面下の動きと同様、
常に自分自身との戦いが伴うものなのす
ね。「次代を担いゆく若者たちの舞踊会」
と題される「さつき会」の意義を、改
めて教えられたと思います。



長唄「連獅子」(上)と狂言舞踊 長唄「茂登木」

「この児らに夢を託せし舞扇」
小雨まじりの「こどもの日」でしたが、
心はまさに五月晴れ、たくさんのエネ
ギーと夢を頂いた二日となりました。

トルコ民族舞 菊の会スタ

平成13年アメリカ公演、昨年
の台湾・シンガポール公演に続
き、今年も「文化庁平成16
年度国際交流支援事業」に菊
の会が採択され、トルコ公演を
計画しています。
これに先立ち2月7日にトルコ
共和国ホイトル舞踊団の副団
長エルゲンご夫妻を招き、トル
コ舞踊を鑑賞、菊の会の舞踊
も序幕に披露し、舞踊交流と
なりました。

トルコ共和国大使館ジャーナ
・ウナル二等書記官をはじめ日
本トルコ協会の役員の方々、ま
たトルコからの留学生など多数
が列席され終演後は、世界3
大料理の美味しいトルコ料理を
頂きながら暖かい文化の交歓の
集いとなりました。

本年1月、町田市民ホールにお
いて、舞踊集団「菊の会」の
公演がありました。
「日本のおどり」と題した多彩なプ
ログラムは、来場した多くの市民に
日本古来の伝統芸能の素晴らしさと
新鮮な感動をあたえました。改めて
感謝申し上げます。

町田市は、昨年、市制施行45周年
を迎え、また人口も40万人の万台を
突破しました。今、多くの市民の要
望に応えながら誰もが「住んでよか
った」といえる町田市」を目指してさ
まざまな施策をすすめています。そ
の中に、文化の香り高い国際感覚豊
かなまちづくりがあります。それは、
市民により質の高い文化・芸術に触
れ合う機会を拡大・提供し、鑑賞活
動を通しての市民活動の広がりと、
地域レベルの国際交流を積極的に進
め、市内に居住する諸外国の人々と



「言葉より踊り」(遊)

恒例となった新春公演 今年も各地で 晴やかに開催!



「日本の心」(ジャパニーズスピリッツ)

新春公演がここ数年各
地で定着して参りま
した。今年も1月29日
千葉県松戸市、30日東
京都町田市、31日埼玉
県栗橋町で開催し、序
幕に長唄「梅の栄」続
いて畑代表による新邦楽「牡
丹がさね」そして狂言舞
踊「棒しばり」と舞踊選
集「光に向つて」を上演。
新年の晴やかな舞台にご
好評を頂き、活気ある
初春を飾りました。

Buyou Concours

東京新聞主催第61回全国舞踊コンクールに今年も7名が参加し、邦舞第一部で1位「三社祭」飯田栄志、武井則男、2位「玉屋」高安喜代美、3位「屋敷娘」葛西輝子が上位を独占、邦舞第二部（児童の部）で1位「羽根の禿」山沢光子、2位「近江のお兼」山崎萌子、入賞「越後獅子」池原和樹。

畑代表の渾身の指導の下、全員が健闘し入賞しました。上位独占は今回で3回目。8年間で1位10名、2位8名、3位7名、入賞6名、合わせて31名が入賞を果たす事が出来ました。



邦舞第二部 第1位
羽根の禿 (山沢光子)



邦舞第一部 第1位 三社祭
(飯田栄志・武井則男)



邦舞第一部第3位
屋敷娘 (葛西輝子)



邦舞第二部第2位
近江のお兼 (山崎萌子)



邦舞第一部第2位
玉屋 (高安喜代美)

8年間で菊の会メンバー31名が入賞



平成16年度文化庁国際芸術交流支援事業 トルコ公演現地視察

今年文化庁の国際芸術交流支援事業を頂き、秋にトルコ公演を予定している。その為4月4日〜10日、畑代表他3名でイスタンブールとアンカラへ視察旅行を行った。菊の会スタジオで文化交流として踊って頂いた、ホイトウル舞踊団のエルゲン御夫妻の案内で地元劇場や制作会社等、12ヶ所を回りトルコ大使館

で阿部大使にお会いする事が出来た。大使から「トルコで日本のおどりの公演が開催される事を期待し楽しみにしております」とのお言葉を頂く事が出来た。ブルートルコと言われるボスボラス海峡に開かれた、日本と縁深きトルコの地で公演出来る日を今から心待ちにしている。



菊の会 32年の歴史を刻む 第1回 ポスター展を開催

1月30日に開催された町田市での新春公演の折、第1回目のポスター展が行なわれ予想以上の入場者で盛会となりました。創立から32年間の様々な公演、そして各国での海外公演のポスターが一同に展示され好評を頂きました。

他の地域からも開催の要請が多数寄せられました。



Information

菊の会の今後の予定

菊の会特別公演

6月6日(日) 大分県別府ビーコンプラザ 2時開演

夏・ま・つ・り 品川パシフィックホテル主催

8月5日(木) 品川パシフィックホテル (入場無料)
6日(金) (万葉の間) 6時開演

第30回菊の会教室発表会・前夜祭

板橋区立文化会館にて(入場無料)

8月7日(土) 教室発表会 <前夜祭> 4時開演
8日(日) 教室発表会 正午開演

『日本のおどり』(入場料5,000円)全席自由

9月26日(日)サンパル荒川 1時開演
29日(水)所沢市民文化センター 2時・6時半開演
10月1日(金)館林市民文化会館 3時開演
2日(土)日野市民会館 2時・6時半開演
4日(月)山梨県立県民文化ホール 3時開演

舞踊劇『藍の女』(阿波よ踊れ)

三隅治雄作・演出 (入場料5,000円)

11月19日(金)青葉の森公園芸術文化ホール 2時・6時半開演
23日(火)鹿島勤労文化会館 3時開演
25日(木)タワーホール船堀 2時・6時半開演
26日(金)サンシティ越谷市民ホール 2時・6時半開演
28日(日)キラリふじみ 2時・6時半開演
12月2日(木)浅草公会堂 2時・6時半開演

「素晴らしき出会い」 ◆ Coffee Break

人生は、人との出会いで変わっていく。と強く感じています。

私が畑代表と出会ったのは25歳の春、桜が爛漫と咲く代々木上原の民音の稽古場でした。なんて品格のある清楚で美しい人なのだろうと今迄にない強烈な印象を受けたのを今でもハッキリ覚えていてます。

なにをやっても三日坊主の私がよくぞ菊の会で三十二年間も続いたと我ながら驚いています。そして私が三十二年間ずっと感動している事があります。それは、海外公演、日本公演の終了後、楽屋に訪ねて来られる大勢の人を笑顔で迎え、握手をし、心の触れあいを大事にしている畑代表の姿です。一日2回公演でしかも人を指導し、自分は主役を演じ相対疲れているにもかかわらず、お客様が顔を紅潮させ「大変感動しました」と言ってくると嬉しくて帰って行かれる姿を見送ります。

畑代表は「日本のおどり」の魅力ある踊り手と作品を創って行きたい、又古典舞踊の基本を大切にしながら、もっと中を広げたい、これからも人との出会いを大切に日々更に精進して参ります。

菊の会担当講師 加藤 洋子



プロフィール おのえききよ
加藤 洋子 (尾上菊希世)
Youko Katou

菊の会創立前より畑道代に師事、菊の会創立にたずさわる。海外公演、国内公演の数々の作品に出演、12年間の内弟子を経て、現在菊の会担当講師の中心として活躍している。